

認知科学を中心とした研究者・現場で教育実践を行っている人々・社会変革の担い手となるべく強い思いを抱いている人々をつなぎ、教育にイノベーションを引き起こすことを目指すグローバルコミュニティがABLE(Agents for Bridging Learning research and Educational practice)です。その第2弾は、21st century skillsの中核をなす「発見し、創造する力」をどのように育むかについて最先端の研究に基づいて考えます。

科学的発見はどう生まれるか

—最先端の認知科学が教育にもたらすもの—

Session Program

•受付開始 : 09:30

•Opening Talk : 10:00 - 10:15

•Morning session : 10:15 - 11:45

『"発見し創造する力"を育む教育実践』

市川力(東京コミュニティスクール)

小原一仁(玉川大学)

•Afternoon session 1: 13:00 - 14:30

『学習と推論におけるアナロジーの役割』

Analogy in Learning and Reasoning with Implications for Education

Dedre Gentner (ノースウェスタン大学)

[通訳・解説]今井むつみ(慶應義塾大学)

•Afternoon session 2 : 14:45 - 16:15

『科学教育を変える新たなアプローチ』

A Translational Approach to Transforming Science Education

Nancy Nersessian (ジョージア工科大学)

[通訳・解説]安西祐一郎(日本学術振興会)

•After session discussion : 16:30 - 17:20

『認知科学の知見を

“発見し創造する教育”にどうつなげるか』

安西祐一郎・今井むつみ

•情報交換会 : 17:30 - 18:30



2012, 8/5 (日)

10:00 - 17:20

参加費 : ¥1,000- (情報交換会費を含みます)

会場 : 玉川大学講堂

連絡先 : able2012@keio.to

<http://cogpsy.sfc.keio.ac.jp/able/>



駅から会場まで

